



文字や文章を書くこと

- ◎ 勉強するときに、ノートやプリントに文字や文章を書くことを、面倒に感じて嫌がったり、書いたとしても乱雑になったりしてしまう子供たちがいます。「勉強を怠けている」と思われたり、何度も漢字を書く練習をさせられたりして、中にはますます書くことを嫌になってしまうケースもあります。
- ◎ 文字や文章を書くことが苦手になる理由として、もともと持っている学び方の特徴があげられます。「全体的な形の把握が苦手」「細かいところまで注意を向けにくい」「手先の操作の問題」「記憶すること」などがあります。姿勢を保持することが苦手な場合は、落ち着いて書くことが難しくなるので、書くことが苦手になります。また、学習内容の理解に優れていても、書くことだけは苦手という子供もいます。
- ◎ これらの改善のためには、楽しくできる専門的な方法がありますが、紙面の関係上ここでは御紹介できません。ここでは、御家庭でできて、効果の高かった取り組み例を御紹介いたします。

☆文字や文章は訓練の手段ではなく、あくまでもコミュニケーションのツールです。
子供から「コミュニケーションをとりたい」「言葉にしたい」というモチベーションがないと、苦手なものにはなかなか取り組めません。

例1) 「ママへ ○○ちゃんとあそびます。5時にかえります」などのようなメモを、メモ用紙やホワイトボードに書くような機会を日頃から作る。

例2) 親しい人、お世話になった人、好きな人に手紙や暑中見舞いなどを書く。

例3) 自由ノートに好きな路線の駅名を順に書き出していく。(新宿、中野、高円寺 …)

その他、「お楽しみ会の出し物のクイズ、なぞなぞを紙に書き出す」、「野球に夢中になっている子供がコーチに助言されたり自分で考えたりしたことをノートに書いていく」などがあります。

- ◎ いずれも文字や文章を書くことが、「楽しい」「書きたい」「伝えたい」などの感情と結び付いています。訓練や練習の要素もありませんし、筆順や形を問われることもありません。また、日頃から楽しい会話やおしゃべりをたくさんして、「コミュニケーション好き」になっておくことも大切でしょう。少しずつ取り組むとよいでしょう。

※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。

子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。